

### 取扱説明書

型式 SPCM-16/18

## もくじ

### ご使用の前に

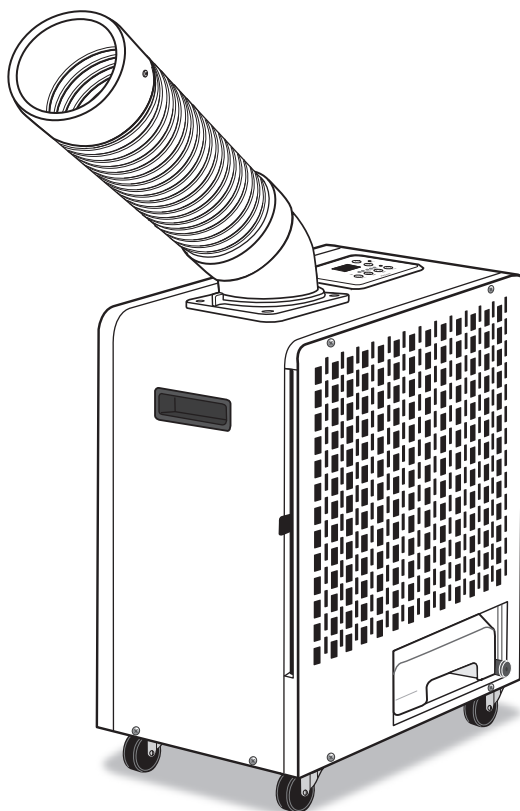
- 安全上の注意事項…………… 1~3
- ご使用前の注意事項…………… 4~6
- コンプレッサーの保護機能…………… 7
- 各部のなまえ…………… 8

### お取り扱い方法

- 組立方法…………… 9
- アース線の接続…………… 10
- 操作パネルについて (ボタン説明)…………… 11
- 使用方法…………… 12~14
- ドレン水の排水…………… 15
- お手入れと保管…………… 16

### こんなときに

- 故障かな?と思ったら…………… 17~18
- 仕様・廃棄方法…………… 19
- 長期使用製品安全表示制度に基づく本体表示について…………… 20
- 保証書/保証規定…………… 21



このたびは「ミニスポットクーラー（業務用）」をお買いあげ頂きありがとうございます。  
この取扱説明書は、本製品使用上の注意事項及び警告事項について詳しく記載しています。  
本製品をご使用前に必ずこの取扱説明書をよくお読みになり、内容を十分にご理解された上で事故が起こることがないように記載内容にしたがって正しくご使用ください。  
本製品は屋外では使用できません。屋内または準屋内（屋根があり、直射日光や雨が当たらない場所）でのみ使用してください。必要に応じていつでも御確認いただけるように、お読みになった後は大切に保管してください。



輸入元  
Waka Trading Co.,Ltd.  
千葉県東金市山口1461番地  
TEL.0120-384-220







発売元  
株式会社パオック  
〒955-0061 新潟県三条市林町2-5-21  
TEL:(0256)33-5574 FAX:(0256)33-5559  
URL <https://www.paock.co.jp>

# ▲ 安全上の注意事項

ご使用になる前に安全上のご注意をよくお読みになり、内容を理解した上でご使用ください。下記に示した注意事項は、故障や破損、発火などの事故や設備、家財の損害に結びつく重大な内容について記載していますので必ずお守りください。お読みになった後は、使用する方がいつでも見られる場所に保管してください。

※故障や破損、発火などの事故による本機以外の設備、家財の損害につきましてはいかなる理由を問わず保証致しかねます。

表 示	表示の意味
 <b>警告</b>	誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う危険性が想定される内容を示しています。
 <b>注意</b>	誤った取り扱いをすると、人が傷害を負ったり、物的損害の発生が想定される内容を示しています。

図記号の例	図記号の意味
   分解禁止      火気厳禁	この記号は、禁止行為を示しています。 具体的な禁止事項については、文字や絵で示します。 左図の場合は、[分解禁止]、[火気厳禁]を示しています
   プラグを抜く      アース実施	この記号は、行為を指示する内容を示しています。 具体的な事項については、文章や絵で示します。 左図の場合は、[差込プラグをコンセントから抜く] [アース実施]を示しています。

## 安全にご使用いただくために

- ・取扱説明書に記載されていない方法や、用途以外の目的でのご使用は、事故やけがの絶対におやめください。
- ・お客様の不注意による破損・けがに対する責任は負いかねますのでご了承ください。
- ・故障していたり、故障と思われる場合は、ご使用にならないでください。
- ・取扱説明書のガイドライン、指示に違反された場合、弊社は一切の責任を負いかねます。
- ・本製品はおもちゃではありません。お子様のご使用は避けてください。

### **警告**

誤った取り扱いをすると、死亡または重傷を負う危険性が想定される内容を示しています。

### 日本国内専用 / 屋内用

使用目的以外に使用しない。室内のみで使用し、屋外では使用しない。



絶対に改造、分解、修理しないでください。  
 ・火災・感電・けがの原因になります。修理についてはお買い上げの販売店にご相談ください。



濡れた手で電源プラグの抜き差しをしないでください。  
 ・感電の原因になります。



電源は必ず100V、定格15A以上のコンセントを単独で使用してください。  
 ・タコ足配線などで、他の接続機器と併用すると、火災・感電の原因になります。



電源プラグは、必ずプラグを持って確実に抜き差ししてください。  
 ・断線による故障・火災・感電の原因になります。

# ▲ 安全上の注意事項(つづき)



## 警告

誤った取り扱いをすると、死亡または重傷を負う危険性が想定される内容を示しています。

	<p>電源プラグは根元まで確実に差し込んでください。 ・感電・ショート、発熱による火災の原因になります。</p>		<p>電源コードを傷つけたり、加工したり、無理に曲げたり、引っ張ったり、ねじったり、束ねたりしないでください。 ・火災や感電の原因になります。</p>
	<p>電源コードや電源プラグが傷んでいる場合やコンセントの差し込みがゆるいときは使用しないでください。 ・ショートによる火災・感電の原因になります。</p>		<p>本製品の清掃時や使用しない時は、必ず電源プラグを抜いてください。 ・火災・感電の原因になります。</p>
	<p>屋外、屋内での水のかかる場所（本体に水をかけたり、水の入った容器を上置きしたり）では使用しないでください。 ・こぼれた水などで電気絶縁が悪くなり、感電・漏電・火災などの原因になります。</p>		<p>火気に近づけないでください。また、暖房器具の周辺など、熱気が当たる場所では使用しないでください。 ・本体や電源コードの変形による故障・火災の原因になります。</p>
	<p>運転中に、電源プラグを抜かないでください。 ・故障の原因になります。必ず電源を切ってファンが停止してから電源プラグを抜いてください。</p>		<p>本体内部のアルミフィンに触らないでください。 ・手を切るなどがおそれがあります。</p>
	<p>直射日光の当たる場所や、高温になる場所に放置しないでください。 ・故障や色あせ、熱による変形の原因になります。</p>		<p>長時間、風を直接からだに当てたり、冷やしすぎたりしないでください。 ・体調悪化や健康障害の原因になります。特に乳幼児や年寄り、からだの不自由な方にはご注意ください。</p>
	<p>灯油・ガソリン・シンナー・塗料・溶剤など引火性の物や爆発のおそれがある物の近くで使用しないでください。 ・爆発・火災の原因になります。</p>		<p>マグネシウム・アルミニウム・チタン・亜鉛や化学物質などの爆発性粉塵の近くで使用しないでください。 ・爆発・火災の原因になります。</p>
	<p>可燃性ガス（掃除用・殺虫用・整髪用など）や市販のエアコン洗浄スプレーを本体に吹きつけしないでください。 ・故障・変色、製品内部の破損、排水経路の詰まりによる水漏れの原因になります。</p>		<p>からだの不自由な人やお子様だけで使用させたり、幼児の手の届く所で使用や設置・保管はしないでください。また、おもちゃとしての使用は絶対におやめください。 ・感電・けがの原因になります。</p>
	<p>アース線を接続してください。 ・接続していない場合や不完全な場合は、故障や漏電時に感電するおそれがあります。「アース線は、ガス管、水道管、避雷針、電話のアース線などに絶対に接続しないでください」（詳細は10ページを参照）</p>		<p>コンセントやアース線の増設などの電気工事は必ず電気工事士が行ってください。電気設備基準や内線規定に従って安全・確実に行ってください。 ・誤った電気工事は火災・感電の原因になります。</p>
	<p>次の場所では使用しないでください。 ・ガスレンジや石油ストーブに直接風が当たる場所 ・雨や水しぶきのかかる場所 ・油・ホコリ・金属粉の多い場所 ・粉塵が浮遊する場所 燃焼器具の不完全燃焼、炎の立ち消え、引火などが生じて、火災や感電の原因になります。</p>		

# ▲ 安全上の注意事項(つづき)



## 注意

誤った取り扱いをすると、人が傷害を負ったり、物的損害の発生が想定される内容を示しています。

	<p>排熱口・吸気口・吹出口・すき間から物や手を入れないでください。 ・高速回転するファンや高電圧部を内蔵しているため、感電・けがのおそれがあります。</p>		<p>吐出口や排熱口、フィルターをふさいだ状態で運転しないでください。 ・故障・火災の原因になります。</p>
	<p>特殊な用途には使用しないでください。 ・食品の保存、動物飼育室、温室 ・精密機器、コンピュータールーム、医薬品などの維持・管理・保存など品質低下や劣化、故障の原因になります。</p>		<p>指定の16～40℃以内の環境で使用してください。 ・指定の環境以外で使用すると、製品の故障や感電・火災の原因になります。</p>
	<p>振動のある場所・傾斜のある場所・周りに不安定な物が置いてある場所で使用しないでください。 階段・非常口・玄関などでは使用しないでください。 ・本体が動いたり倒れたりして、製品の破損やけがの原因になります。</p>		<p>動植物に直接風をあてないでください。 ・害を与えるおそれがあります。</p>
	<p>ペット用空調機器として使用しないでください。 ・ペットが本体や電源コードを傷つけると、火災の原因になります。</p>		<p>フィルターを外したまま使用しないでください。 ・内部にホコリを吸い込み、故障の原因になります。</p>
	<p>定期的にフィルター部の掃除を行ってください。 ・ゴミ、油分などが付着すると目詰まりにより、霜の発生、水滴吹き出しの原因になります。</p>		<p>差込プラグのほこりなどは定期的に乾いた布でふき取ってください。 ・差込プラグにほこりなどがたまると、湿気などで絶縁不良となり、火災の原因になります。</p>
	<p>本製品の上に水の入った容器などをのせないでください。 ・水がこぼれて本体内部に侵入すると、感電の原因になります。</p>		<p>本製品によりかかったり、倒れたり、のったり、ぶつけたりして強い衝撃を与えないでください。 ・故障・破損の原因になります。</p>
	<p>お手入れや点検の際は、必ずコンセントから電源プラグを抜いてください。 ・感電やけがの原因になります。</p>		<p>本体を横に倒したまま運ばないでください。 ・内部部品が破損して、感電・火災の原因になります。</p>
	<p>船舶や車両などでは使用しないでください。 ・内部部品が破損して、感電・火災の原因になります。</p>		<p>ドレンタンクに水が確実に排水されていることを確認してください。 ・水漏れして周囲を汚損する原因になります。</p>
	<p>落雷のおそれがあるときは、運転を停止し必ずコンセントから電源プラグを抜いてください。 ・落雷すると故障の原因になります。</p>		<p>使用時はキャスターのストッパーを固定(ロック)してください。 ・不意に本体が動いて、製品の破損やけがの原因になります。</p>
	<p>延長コードを使用するときは、断面積2mm<sup>2</sup>以上、長さ8m以内の物を使用してください。 ・電圧降下により製品が正しく運転しないことがあります。できるだけ延長コードの使用は避けて、電源プラグを直接コンセントに差し込んでください。</p>		
	<p>異常・故障時は、ただちに使用を中止し、電源プラグをコンセントから抜いてください。 発煙・発火・火災・感電のおそれがあります。 [異常例] ・異常な音やにおいがする ・電源プラグやアース線、電源コードが異常に熱くなる ・電源コードを動かすと、通電したりしなかったりする ・使用中に時々電源が切れる ・触れるとビリビリと電気を感ずる ※ご自身で交換・修理せず、必ず販売店までご連絡ください。</p>		

## ご使用前の注意事項

- 本製品はスポット冷房機です。部屋全体を冷やすことはできません。補助的な冷風機としてご使用ください。
- 室温が約16℃～40℃の範囲の環境でご使用ください。(7ページ参照)
- 本体の周辺温度について
  - ・ ディスプレイに表示される温度は、本体に内蔵されている温度センサーが感知した製品の周辺温度になります。
  - ・ 設置場所によっては、温度が正確に表示されない場合があります。
- 冷風運転時の設定温度について  
周辺温度より低い温度に設定してください。高い温度に設定すると、冷風運転をしません。ただし、ファンは連続運転し、送風運転を続けます。  
(ご使用環境下の条件によっては、送風も停止する場合があります)
- 夏場は、ドレン水が溜まりやすいため、冷風・ドライ運転時は付属のドレンホースのご使用をおすすめします。
- 落雷などで停電した場合は、一旦運転を停止してコンセントから電源プラグを抜いてください。  
再度使用する場合は、5分以上時間をおいてから使用してください。

### 次のような現象は製品の異常や故障ではありません

#### ● 音がする

- 運転開始直後や停止直後に、ユニットの中を冷媒液が流れる音がすることがあります。
- 運転開始時・停止時に、本体の熱膨張や熱収縮による音がすることがあります。
- 運転中に、本体内部でドレン水を蒸発処理している音がすることがあります。
- 本製品は、コンプレッサーが稼働すると、大きな音が鳴りますが故障ではありません。
- 本体を平らな所に設置しているか、エアフィルターが正しく取り付けられているかを確認してください。

#### ● ニオイがする

- 購入後しばらくは、ニオイがすることがありますが、使用を続けることで少なくなります。  
また、ユニットに付いた部屋の芳香剤や化粧品、汗などのニオイがする場合があります。

#### ● 霧について

- 冷房運転中にドレンホース付近から、霧(煙)のようなものが見えることがあります。  
これは、吹き出した冷風で部屋の空気が冷やされて霧状に見えるためで、故障ではありません。

#### ● 結露について

- 部屋の湿度が80%以上あるときに、長時間にわたって冷風運転を続けると、ドレンホースの付近に結露が生じて水滴が落ちることがあります。

#### ● アルミフィンについて

- 熱交換器に使用しているアルミフィンは、銅管の接続の際、熱により一部変色していますが、性能に影響はありません。

#### ● 電源プラグが異常に熱い

- コンセントに確実に差し込まれていない場合、ガタついている場合は、異常に発熱します。  
別のコンセントに正しく差し込み直すか、工事業者に依頼してコンセントの交換を行ってください。交換しても異常に発熱する場合は、販売店にご相談ください。

※ 使用中に、電源プラグが多少熱を帯びることは異常ではありません。

# ご使用前の注意事項(つづき)

## 本体の設置

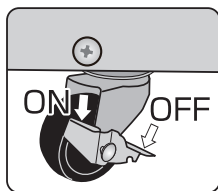
- 本製品の本体重量は約28.8kgです。平らで安定した、重量に十分耐える場所に設置してください。また、人の手で運ぶときは、2人以上で設置・移動を行ってください。

※畳の上や、やわらかいフローリングの上など傷がついたり、設置跡が残る可能性のある場所には、設置しないでください。

※設置場所には十分注意してください。弊社は設置跡に関する責任は負いかねます。

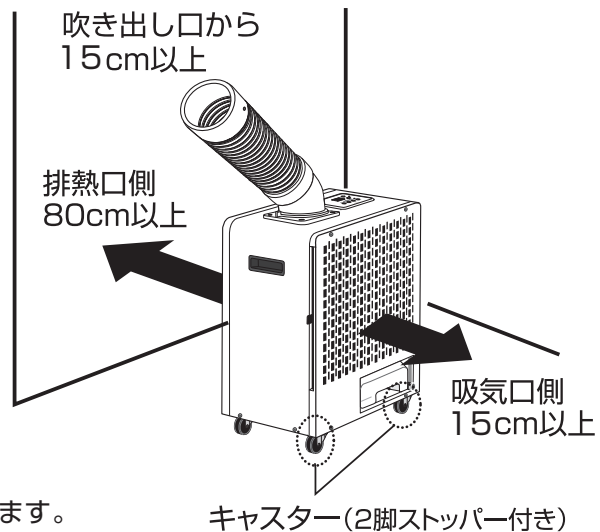
- 使用の際は、吸気口・排熱口をふさがないように、吸気口と吹き出し口からは15cm以上の距離を空けてください。排熱口からは80cm以上の距離を空け、周囲に障害物がないようにして設置してください。

→ カーテンなどが吸気口に吸い付くと、故障の原因になります。



設置後は必ずキャスターをON(ロック)してください。

※2箇所にストッパーが付いています。



- テレビやラジオなどのAV機器から2m以上離してください。

→ 電波障害の原因になります。

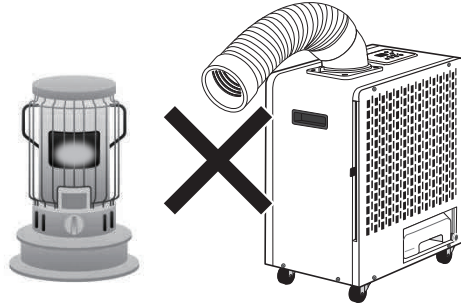
- 風をストーブなどの燃焼器具に向けないでください。

# ご使用前の注意事項(つづき)

## 本体の設置

- 燃焼・発熱器具の周辺など熱気が当たる場所には設置しないでください。

- 燃焼器具の不完全燃焼、炎の立ち消え、引火などして火災や感電の原因になります。
- 故障や変形のおそれがあります。
- 冷風運転が正常に作動しない場合があります。

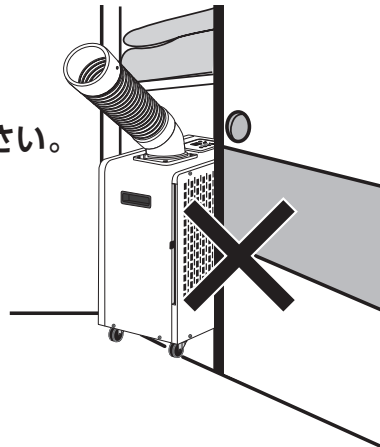


- 本体の上に物を置いたり、のったり、寄りかかったり、倒したり、強い衝撃を与えたりしないでください。

- けがや事故、破損・故障の原因になります。

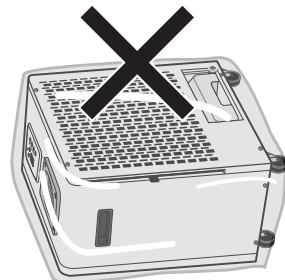
- 押し入れや家具のすき間など、狭い場所に設置して使用しないでください。

- 発熱や発火、故障の原因になります。



- 本体を横倒しにしたり、横倒しにして設置や移動・保管しないでください。

- けがや事故、故障の原因になります。
- コンプレッサーなどの内部不具合の原因になります。



# コンプレッサの保護機能

## コンプレッサの保護機能について

### ■ 室温が約16～40℃の範囲の環境でご使用ください。

⇒以下の環境になると、保護機能が働き、「冷風/除湿⇒送風」に運転が自動で切り替わります。

● 本体周辺の温度が41℃以上、15℃以下のとき

● 冷却ユニットに霜が付いた場合

- ※ 本体内部の温度センサーと実際の室温に差が生じることがあります。
- ※ 使用温度範囲は、湿度によっても変わりますので、目安としてください。
- ※ ご使用環境下の条件によっては、送風も停止する場合があります。

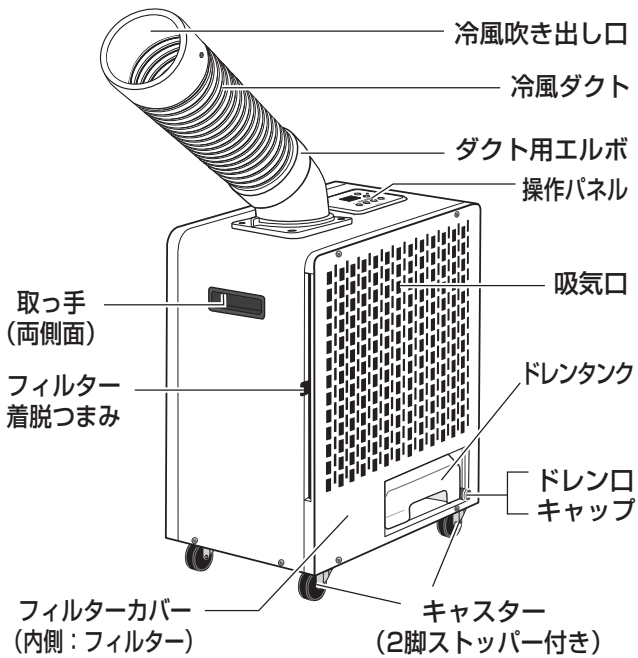
冷風運転	15℃以下	16～40℃	41℃以上
除湿運転	送風	冷風	送風

- ※ 冷風運転・除湿運転中に本体の周辺温度が41℃以上15℃以下になり「冷風/除湿⇒送風」に切り替わった場合、製品の温度センサーが再び「16～40℃」になったのを感知すると、自動で冷風運転または除湿運転に切り替わります。
- ※ 周辺温度が35℃以上の場合、周辺温度が40℃以下でも、本体内部の温度センサーが41℃以上と感知してコンプレッサの入切を繰り返す場合があります。（周辺温度と本体内部の温度に差があります。）  
密閉の空間では、コンプレッサの入切を繰り返すことで次第に室温が下がり、連続して冷風運転が行われるようになります。
- ※ 冷風運転・除湿運転中冷却ユニットに霜が発生した場合、「冷風/除湿⇒送風」に自動で切り替わり、霜が溶けると、自動で冷風運転または除湿運転に切り替わります。

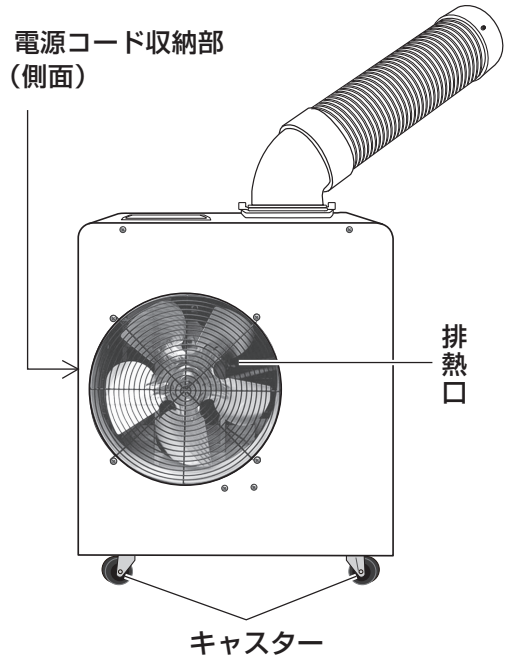
- モードを切り替えた際、数十秒から数分間コンプレッサの起動に時間がかかります。
- 電源を切った後すぐに再度電源を入れた場合でも、コンプレッサの起動に時間がかかります。

# 各部のなまえ

## 【 本体前面 】



## 【 本体背面 】

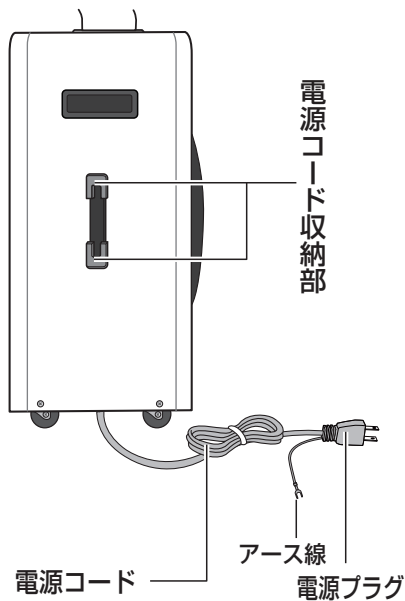


## 【 本体側面 】

**!**  
必ず正しくアース接続を行ってください。  
・接続していない場合や不完全な場合は、故障や漏電時に感電の原因になります。

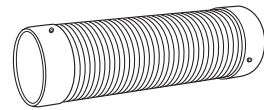
**⊘**  
電源コードは束ねたまま使用しないでください。  
・コードが熱くなり故障・火災の原因になります。

**!**  
使用後は、コンセントから電源プラグを抜いてください。  
・感電・火災の原因になります。

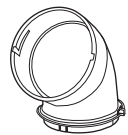


## 【 付属品 】

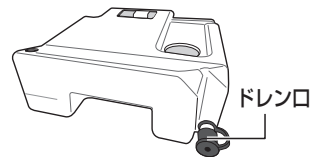
### 冷風ダクト



### ダクト用エルボ



### ドレンタンク



### ドレンホース



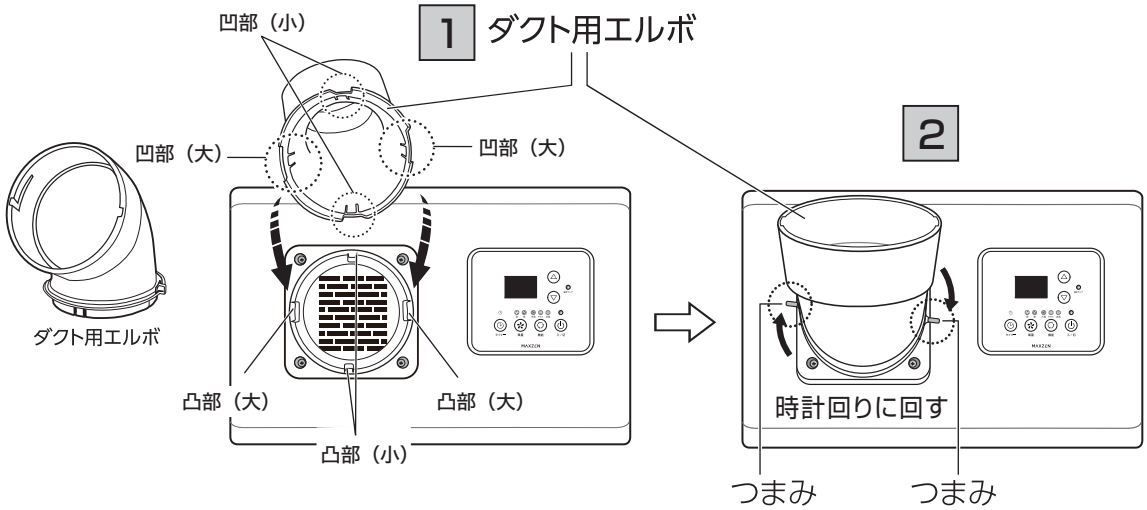
# 組立方法

## お願い

製品到着後は必ず、1時間以上置いてから使用してください。→運転中にコンプレッサー内の冷媒オイルが別の場所に流れ込み、コンプレッサー内の冷媒オイルが不足して正常に動作しないことがあります。

## ダクト用エルボを取り付ける

- 1 本体のダクト用エルボの取り付け口の4箇所の凸部に、ダクト用エルボの凹部を合わせて取り付けます。
- 2 ダクト用エルボの2箇所のつまみを持って、「カチッ」と音がするまで時計回りに回してロックします。反時計回りに回すとロックが解除されます。  
※安全のためロック・ロック解除は固くなっています。



## 冷風ダクトを取り付ける

冷風ダクトの2箇所の凸部を、ダクト用エルボの2箇所の切り欠きに合わせて差し込み、時計回りに回してしっかり取り付けます。



# アース線の接続

## アース線の接続



アース線接続

ご使用前に、正しくアース線の接続を行ってください。

→接続されていない場合や不完全な場合は、故障や漏電時に感電の原因になります。

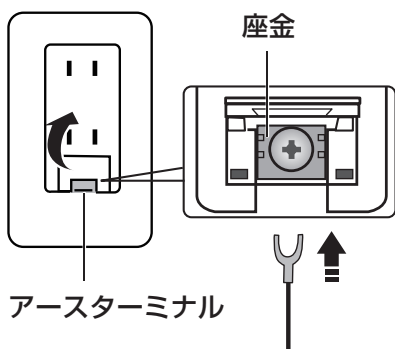
【注】アース線は、ガス管、水道管、避雷針、電話のアース線などに接続しない

### ■漏電遮断機、アース端子が付いていないコンセントの場合

- アース端子を増設する工事は【D種接地工事】と呼ばれ、有資格者しか施工できない工事にあたります。ネット上で、アース端子が付いたコンセントに交換する方法が紹介されていることもありますが、くれぐれもご自分ではおこなわないでください。

【注】アース端子の増設は専門業者の電気工事の資格を持つ方へ依頼してください。

## 1 アース線を接続します。



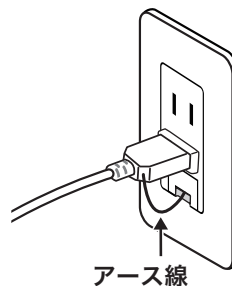
- ① コンセントの「アースターミナル」の蓋を開けます。  
→中にネジ、その下に座金があります。
- ② プラスドライバーでネジを反時計回りに回して緩めます。  
ネジを緩めるとその下にある座金と一緒に浮いてきます。
- ③ 座金の下にアース線の先端を潜り込ませます。
- ④ ネジを時計回りに回して締めて座金を固定していきます。  
※ネジと座金を固定し終えたらアース線を手で引っ張って線が抜けないう確認してください。
- ⑤ 蓋を元通りに閉じます。

## 2 コンセント電源プラグを根元まで確実に差し込みます。

※アース線の接続が完了してから最後に電源プラグを差し込みます。

### ■アース線の効果

- ① 漏電時の感電を防ぎます。
- ② 余分な電気エネルギーを地面に逃し、電気の流れを安定させることで家電の動作に影響を与えるノイズを軽減します。
- ③ 電磁波を軽減します。



# 操作パネルについて(ボタン説明)

## 本体パネル

### 【温度／時間表示パネル】

※送風・ドライ運転時は周辺温度、冷風運転時は設定温度が表示されます。(周辺温度は目安です)

### 温度設定・タイマー設定

- ▲ 温度を上げる・タイマー時間を進める
- ▼ 温度を下げる・タイマー時間を戻す

### 満水ランプ

満水ランプが赤く点灯して運転が停止します。

### タイマーランプ

### 電源ランプ

### 風量ランプ・機能ランプ



### タイマー設定

ボタンを押すたびに設定時間が切り替わり1時間～24時間までの1時間単位でON/OFFタイマー設定ができます。

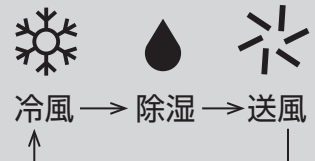
### 風量設定(2段階)

風量を2段階(強/弱)で調節可能です。設定したランプが点灯します。  
※冷風・送風運転時のみ設定可能です。



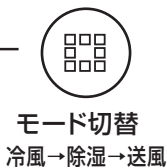
### モード設定

ボタンを押すたびに、「冷風」「除湿」「送風」が切り替わり、設定したランプが点滅、点灯に変わり確定されます。



### 電源入/切

ボタンを押すと「入」(電源ランプ明点灯)もう一度押すと「切」(電源ランプ暗点灯)電源切時はメモリー機能が働きます。再度電源を入れると、電源切前の状態で運転を始めます。



# 使用方法

## 電源を入れる



電源入/切

電源入/切ボタンを押すと電源ランプが明るく点灯し、運転を開始します。

※ドレンタンクが確実にセットされていない場合は、警告音が鳴り、温度/時間表示パネルに  $F$  と表示が出て満水ランプが赤く点灯し、運転を開始することができません。

## 冷風運転

冷風運転中は、設定温度を維持するためにコンプレッサーがON/OFFします。

- 設定温度は16～32℃です。
- 風量切替ボタンを押して強/弱の風量設定が可能です。
- 設定温度と周辺温度が同じになると、送風に切り替わります。

1



モード切替  
冷風→除湿→送風

モード切替ボタンを押すごとに[冷風]→[除湿]→[送風]の順番で機能ランプが点灯し、機能が切り替わります。  
[冷風]を選択します。→冷風ランプが点灯します。

2



上



下

温度設定ボタンで温度を設定します。→表示パネルに温度が表示されます。

- 1回押すごとに1℃上がりまたは下がります。
- ※ 周辺温度（部屋）の温度よりも低い温度に設定してください。周辺温度（部屋）の温度よりも高い温度に設定した場合は、冷風運転をしません。
- ※ 設定温度と周辺温度が同じになると、送風に切り替わります。周辺温度が設定温度より高くなると冷風に切り替わります。

3



風量切替

風量切替ボタンを押して[弱]or[強]を選択します。→選択した風量ランプが点灯します。

ボタンを押すたびに[弱][強]2段階の風量が切り替わります。

4



電源入/切

運転を止める

- 運転中に電源入/切ボタンを押します。→電源ランプが暗く点灯し、待機状態になります。

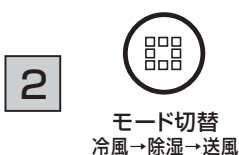
# 使用方法(つづき)

## 除湿運転

風量弱のみで運転、温度設定はできません。



電源入/切ボタンを押すと電源ランプが明るく点灯し、運転を開始します。



モード切替ボタンを押して [  除湿 ] を選択します。  
→除湿ランプが点灯します。

※環境温度に応じてコンプレッサーの入/切を繰り返して乾燥した風を送り出し湿度を下げます。



運転を止める

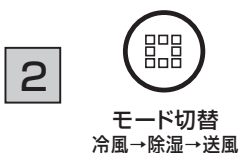
● 運転中に電源入/切ボタンを押します。→電源ランプが暗く点灯し、待機状態になります。

## 送風運転

温度設定はできません。



電源入/切ボタンを押すと電源ランプが明るく点灯し、運転を開始します。



モード切替ボタンを押して [  送風 ] を選択します。  
→送風ランプが点灯します。



風量切替ボタンを押して [  弱 ] or [  強 ] を選択します。  
→選択した風量ランプが点灯します。

ボタンを押すたびに [弱][強] 2段階の風量が切り替わります。



運転を止める

● 運転中に電源入/切ボタンを押します。→電源ランプが暗く点灯し、待機状態になります。

# 使用方法(つづき)

## ON/OFFタイマー運転

設定した時間が経過すると自動的に運転をON/OFFします。



- タイマー設定中に電源プラグを抜いた場合や、停電した場合は、設定が解除されますので最初から操作をやり直してください。



タイマー

タイマーボタンを押します。→タイマーランプが点灯します。  
1～24時間の1時間単位でON/OFFタイマー設定ができます。



### 【OFFタイマーを設定する】⇒ 運転している状態で押します

運転状態でタイマーボタンを押し、時間表示が点滅している間に  上 ボタンで  
OFFタイマー時間を設定する  下

→タイマーランプが点灯します。

- ※ タイマー設定時に数字が表示され、点灯後に設定完了（点滅中は設定変更可能）
- ※ 設定完了すると、送風運転・除湿運転では周辺温度、冷風運転では設定温度が液晶パネルに表示されます。
- ※ タイマー時間を0にするか、電源オフにするとタイマーはリセットされます。

### 【ONタイマーを設定する】⇒ 待機している状態で押します

1 待機状態でタイマーボタンを押し、時間表示が点滅している間に  上 ボタンで  
ONタイマー時間を設定する  下

→タイマーランプが点灯します。

- ※ タイマー設定時に数字が表示され、点灯後に設定完了（点滅中は設定変更可能）

2 風量切替ボタン・モード切替ボタンを押してお好みの設定をする

→設定したタイマー時間（残りのタイマー時間）が1時間単位で液晶パネルに表示され、タイマーランプと設定した風量（弱or強）ランプ・モード（冷風or除湿or送風）ランプが点灯します。

- ※ タイマー時間を0にするか、電源オフにするとタイマーはリセットされます。

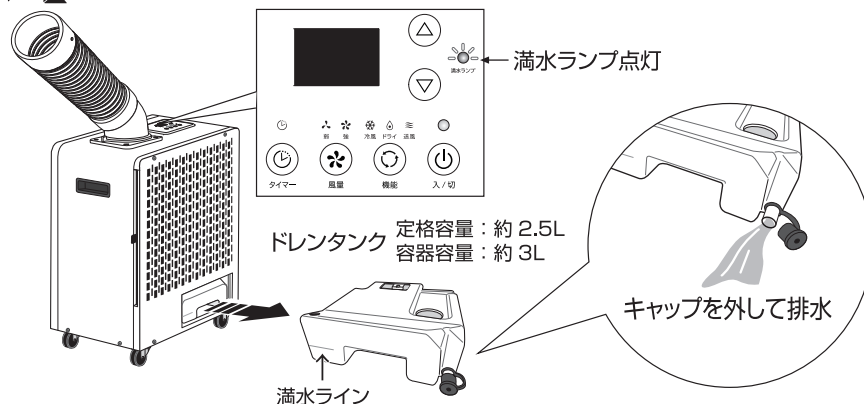
# ドレン水の排水

■ 本製品は熱交換により除湿した水がドレンタンク内にたまる構造になっています。

- ・ 除湿水量は、気温や湿度、熱交換器の汚れなどによって異なります。梅雨の時期などに除湿水量が多くなりますので、ドレンタンクを見て確認してください。
- ・ 本体を移動するときは、あらかじめドレンタンク内の水を捨ててから移動してください。
- ・ ドレンタンクのキャップは力を入れずに奥まで差し込んでください。差し込みがゆるいと水漏れの原因になります。

## ■ 満水ランプ

- ・ ドレンタンクの満水ラインを超えると、警告音が鳴り、温度/時間表示パネルに **Ft** と表示されて満水ランプが赤く点灯します。
- ・ 満水ランプが点灯したときは、本体からドレンタンクを取り出して水を捨て、必ず正しく本体に取り付けてください。
- ・ 粉塵やほこりなどの多い場所で使用すると、本体の排水口に粉塵などがたまり、水が漏れることがあります。
- ・ ドレンタンクが確実にセットされていない場合、警告音が鳴り、温度/時間表示パネルに **Ft** と表示されて満水ランプが赤く点灯し、運転しません。



## ■ ドレンホースを取り付ける

- ・ ドレンホースを使用してドレン水が常時流れるようにしておくと、ドレンタンクの満水を気にせずに使用できます。

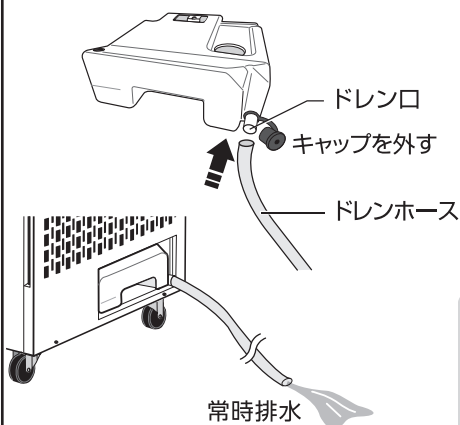
1 本体からドレンタンクを取り出します。

2 ドレンタンクのキャップを外し、ドレン口に付属のドレンホースを取り付けます。

※ドレンホースは排水場所に合わせて長さを調節してください。

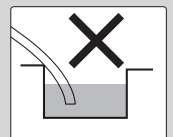
3 ドレンホースが折れ曲がらないように注意して本体にドレンタンクをセットし、ドレンホースのもう一方を排水する場所に向けます。

※必ずドレン口よりも低い位置にある、確実に排水できる場所に向けて排水してください。



ドレンホースの先端を水の中に入れてください。

- ・ 排水できなくなり水漏れの原因になります。



# お手入れと保管



- 必ず電源を切り、コンセントから電源プラグ、アース線を抜いてから行ってください。
- お手入れは2週間に1回以上行ってください。
- フィルターにホコリが溜まると、冷風効果（冷房効果）が弱くなります。

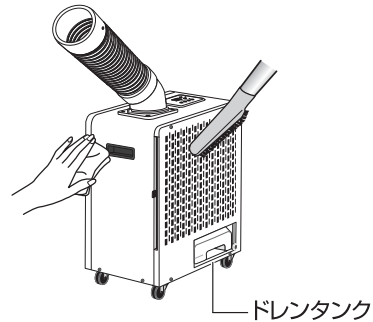


注意

- 本体は、水をかけたり、水に浸けたり、丸洗いは絶対にしないでください。内部に水が入り、故障の原因になります。
- みがき粉・ベンジン・シンナー・アルコール・漂白剤・化学ぞうきん・金属たわし・硬いたわしなどは使わないでください。変色や変形の原因になります。
- 40℃以上のお湯は使わないでください。変形の原因になります。

## 本体 水洗い不可

- 水またはぬるま湯を含ませた柔らかい布をよく絞って、汚れを拭き取る  
汚れがはげしい場合は、柔らかい布に中性洗剤を薄めた水を付けて、汚れを拭き取ってください。その後、洗剤や水分が残らないように丁寧に拭いてください。

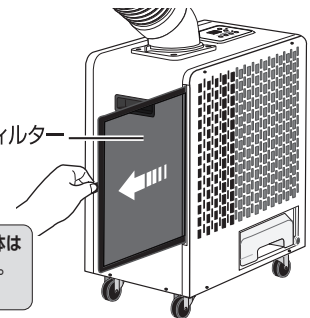


## 冷風ダクト・ダクト用エルボ・ドレンタンク・ドレンホース 水洗い可

- 本体からドレンタンクを外し、ドレン水を抜いたあと内部を洗って乾かします。
- 長期間収納するときにはそれぞれを分解して、洗ってください。  
洗った後は、水気が残らないように十分乾燥させてください。

## フィルター 水洗い可

- 1 フィルター着脱つまみを横に引っ張ってフィルターを取り出します。
- 2 フィルターの汚れを掃除機のブラシを使って吸い取ります。  
汚れがはげしい場合は、やさしく水洗いしてよく乾燥させ、必ず本体に取り付けてください。



注意  
フィルターを外した状態で、本体は絶対に運転させないでください。故障の原因になります。

## 電源プラグ 水洗い不可

- ゴミやホコリは定期的に乾いた布で拭き取ります。



保管のしかた

- ・長期間保管される場合は、本体の汚れをしっかりと拭き取り、フィルターのお手入れをし、水気が残らないように十分乾燥させてください。
- ・ドレンタンクの水を捨てて、水気が残らないように十分乾燥させてください。
- ・晴れている日に半日程度「送風」運転をして機器の内部を乾燥させてください。
- ・冷風ダクトを取り外し、本体を袋に入れ、購入時に入っていた箱などに入れて、必ず製品を立てた状態にして直射日光の当たらない、高温多湿を避けた結露しない場所で保管してください。

# 故障かな?と思ったら

修理を依頼される前に、次の点を確認してください。

症 状	対処方法
電源が入らない 運転が始まらない	●コンセントに電源プラグが確実に差し込まれていますか? →電源プラグを根元まで確実に差し込んでください。
	●電源がONになっていますか? →電源入/切ボタンを押して電源をONにしてください。
	●ドレン水がたまっていますか? →ドレンタンクを取り出して排水してください。(15ページ参照)
	●ドレンタンクが正しくセットされていますか? →ドレンタンクを正しくセットしてください。
冷え方が弱い (冷風・除湿運転時)	●フィルターがホコリで汚れていませんか? →フィルターを外して掃除してください。 2週間に1回は掃除をしてください。(16ページ参照)
	●窓や戸が開いていませんか? →窓や戸を閉めてください。直射日光が当たる場合は、カーテンやブラインドでさえぎってください。
	●部屋の中に熱源になっているものはありませんか? →室内にはできるだけ熱源になるものを置かないでください。
	●付属品以外の冷風ダクトを使用したり、冷風ダクトを連結するなどして長さを延長していませんか? →冷風ダクトは必ず付属品を単独で使用してください。付属品以外の冷風ダクトを使用したり、冷風ダクトを連結するなどして長さを延長すると排気熱が冷風ダクト内に留まり、正常な排熱処理ができず、コンプレッサーの保護機能が作動します。(7ページ参照)
●延長コードを使用していませんか? →延長コードは断面積が2.0mm <sup>2</sup> 以上のものを8m以内で使用してください。	
冷風が出ない (冷風運転時)	●コンプレッサーの保護機能が働いていませんか? →7ページ参照
送風が停止する (冷風・除湿運転時)	●コンプレッサーの保護機能が働いていませんか? →7ページ参照
	●ドレン水がたまっていますか? →ドレンタンクを取り出して排水してください。(15ページ参照)

# 故障かな?と思ったら(つづき)

症 状	対処方法
ブレーカーが落ちる	<p>●本体を横に寝かせませんでしたか? →24時間以上縦置き(正常位置)してから再度運転を行ってください。 ※ 運送会社によっては、配送時に横積みをしている場合があります。</p>
	<p>●建物内の同コンセントの回路内で、消費電力の大きい製品を使用していませんか? →異なる場所のコンセントでも、同コンセント回路内で消費電力の大きい製品を使用しているとブレーカーが落ちます。</p>
本体から水が漏れる	<p>●ドレンタンクが破損していませんか? →お買い上げの販売店もしくはお客さまご相談窓口までご連絡ください。</p>
	<p>●ドレンタンクのキャップが緩んでいませんか? →ドレンタンクのキャップを奥まで確実に差し込んでください。</p>

## エラー表記について

E0	<p>基盤の通信不良・警告音が鳴ります。 →お買い上げの販売店もしくはお客さまご相談窓口までご連絡ください。</p>
E1	<p>周辺温度センサーの故障・警告音が鳴ります。 数秒後にファンが運転停止します。 →お買い上げの販売店もしくはお客さまご相談窓口までご連絡ください。</p>
E2	<p>蒸発器、凝縮器のセンサー故障・警告音が鳴ります。 数秒後にファンが運転停止します。 →お買い上げの販売店もしくはお客さまご相談窓口までご連絡ください。</p>
FL	<p>満水のお知らせ:警告音が鳴ります。満水ランプが赤く点灯し、約3分間送風した後に運転停止します。 →電源を切り、ドレンタンクを排水して取り出してください。(15ページ参照)</p>
	<p>頻繁に満水表示が出る場合、ドレンホースを取り付けて連続排水してください。 →連続排水中にドレンホースが折れたり曲がっていないか、確認してください。</p>

※どのエラー表記もいずれかのボタンを押すと音は止まります。

# 仕様・廃棄方法

## 仕様

型 式	SPCM-16/18	
定 格 電 圧	単相交流100V	
定 格 周 波 数	50Hz	60Hz
冷 房 能 力	1.6kW	1.8kW
運 転 電 流	7.9A	7.6A
消 費 電 力	670W	750W
除 湿 能 力 (室温27℃、相対湿度60%)	約 22L/日	約 26L/日
冷 媒・封 入 量	R410A・380g	
使 用 環 境	16℃～40℃	
本 体 サ イ ズ (冷風ダクト含まず)	約幅465×奥行 287×高さ586(mm)	
質 量	約28.8kg	
電 源 コード 長 さ	約1.8m	
付 属 品	冷風ダクト×1、ダクト用エルボ×1、 ドレンホース×1	

- 冷房能力は、室温30℃、相対湿度70%の条件で運転した時の値です。
- 製品の外観・仕様等は改良のため予告なく変更される場合があります。

## 廃棄方法



**注意**

フロン類をみだりに大気中に放出することは禁じられています。  
この製品を廃棄する場合は、フロン類の回収が必要になります。  
※フロン類の種類及び充填量は製品の銘板に記載しています。

- 自治体のゴミの廃棄方法に従って廃棄してください。
- 本製品は、特定家庭用機器再商品化法（家電リサイクル法）の適用製品ではありません。  
廃棄する場合は、フロン類の回収、運搬、廃棄の料金が必要になります。  
専門の回収業者に委託し、適正に処理してください。

# 長期使用製品安全表示制度に基づく本体表示について

## 本体への表示内容

・経年劣化により危害の発生が高まるおそれがあることを注意喚起するために、電気用品安全法で義務付けられた以下の表示を本体に行っています。



**【製造年】**（本体に西暦4桁で表示してあります。）

**【設計上の標準使用期間】 5年**

設計上の標準使用期間を超えてお使いいただいた場合は、経年劣化による発火・けが等の事故が生じるおそれがあります。

### 設計上の標準使用期間とは

- ※ 運転時間や温湿度など、下記の標準的な使用条件に基づく経年劣化に対して、製造した年から安全上支障なく使用することができる標準的な期間です。
- ※ 設計上の標準使用期間は、保証書に記載の無償保証期間とは異なります。また、偶発的な故障が発生しないことを保証するものでもありません。
- ※ 設置状況や環境、使用頻度が下記の条件と異なる場合、または本来の使用目的以外でご使用されますと、設計上の標準使用期間より短い期間で経年劣化による発火・けがなどの事故が生じるおそれがあります。

### 標準使用条件 **日本工業規格 JIS C 9921-3**による

環境条件	電源電圧	定格表示電圧による
	周波数	定格表示周波数による
	冷房室内温度	27℃(乾球温度)
	冷房室内湿度	47℃(湿球温度19℃)
	設置条件	標準設置
負荷条件	住宅	木造平屋、南向き和室、居間
	部屋の広さ	機器能力に見合った広さの部屋(約6畳)
想定時間	1年あたりの使用日数	東京モデル 冷房:6月2日から9月21日までの112日間
	1日あたりの使用時間	冷房:9h/日
	1年間の使用時間	冷房:1,008h/年

# 保証書/保証規定

## 保証書

### ミニスポットクーラー 型式SPCM-16/18

本書は、お買い上げ日から下記期間内に故障が発生した場合に、下記の保証規定により無料修理を行うことをお約束するものです。

業務用

お客様	お名前	※販売店	店名・住所
	ご住所 〒		
	電話 ) -		電話 ) -

お買い上げ日	保証期間
年 月 日	お買い上げ日より1年間

販売店様へ：※印欄は必ず記入してお渡しく下さい。

故障・修理のご相談：和華貿易スポットクーラーお問い合わせ窓口

**TEL.0120-384-220**

受付時間：9:00-17:00(土・日・祝日・夏季休業期間・年末年始等を除く)

## 保証規定

- 保証期間内に、故障などによる無料修理をお受けになる場合には、お買い上げの販売店にて、保証書をご提示のうえ、修理をご依頼ください。
  - 取扱説明書、本体貼付ラベルなどの注意書きにしたがった正常な使用状態で故障及び損傷した場合には、弊社が無料にて修理また交換いたします。
  - 保証内容は本製品自体の無料修理に限ります。保証期間内であっても、その他の保証はいたしかねます。
  - ご転居や贈答品などで本保証書に記入してある販売店に修理をご依頼になれない場合には、お買い上げの販売店にお問い合わせください。
  - 保証期間内であっても次の場合には有料修理になります。
    - ①お買い上げ後の落下、移動、輸送または什・備品などとの接触による故障及び損傷
    - ②使用上の誤り、不当な修理、改造などによる故障及び損傷
    - ③火災、地震、その他の天災地変による故障及び損傷
    - ④車両、船舶への搭載に使用された場合の故障及び損傷
    - ⑤本書の提示がない場合、本書にお買い上げ年月日、お客様名、販売店名の記入のない場合、あるいは字句を書き換えられた場合
  - 本書は日本国内においてのみ有効です。
  - 本書は再発行いたしません。紛失しないよう大切に保管してください。
- ※この保証書は本書に明示した期間、条件のもとにおいて無料修理をお約束するものです。従って、この保証書によって保証書を発行しているもの（保証責任者）、及びそれ以外の事業者に対するお客様の法律上の権利を制限するものではありません。
- ※保証期間経過後の修理などについてご不明の場合は、お買い上げの販売店にお問い合わせください。

修理メモ



